

個人情報が入保存された USB メモリー紛失に関するお詫び

今般、当院におきまして、看護研究用に用意した平成24年及び平成25年の全国健康保険協会の特定健診受診者のうち約700名の氏名、年齢及び生年月日を含む健診データが保存された USB メモリーを、平成31年2月25日から2月27日の間に紛失していたことが判明し、警察へ遺失物届を提出しました。

紛失判明後直ちに関係場所を捜索したところ、発見には至っていませんが、現時点で対象者の個人情報が入流出した事実は確認されておりません。

対象者様には、直接今回の経緯の説明と謝罪を行って参ります。

個人情報の管理については、日頃より運用規程を遵守するよう指導しておりましたが、このような事態に至り、皆様には多大なご迷惑とご心配をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。

今後このような事態を二度と発生させないよう、原則個人情報は持ち出さない、やむを得ず持ち出す場合は、セキュリティ機能付の USB を使用し、パスワード設定をしたうえで持ち出すこととする、等の運用規程を周知徹底するとともに、セキュリティ機能付の USB 等の厳重な管理体制を整備することにより、職員一同再発防止の徹底に取り組む所存です。

平成31年3月29日

うつのみや病院
院長 草野 英二